

平泉文化セミナー 第 52 回例会

平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーを定期的に関催しております。

今回は、第 52 回例会として下記により開催しますので、ふるってご参加ください。参加費は無料です。

文化財や遺跡・遺構などのデジタル アーカイブ化とその利用

岩手大学技術部 技術専門職員

藤崎聡美氏

岩手大学理工学部 兼 平泉文化研究センター

會澤純雄氏・桑静氏・平原英俊氏

要旨： 近年、歴史的な文化財や遺跡・遺構等を復元可能なデジタルデータに変換し未来に残す取り組み、いわゆるデジタルアーカイブ化することが着目されています。特に三次元計測装置で得られるデータは非常に高精度で、CG 等での再現も比較的容易に行えることが特徴です。岩手大学平泉文化研究センターは文化財や遺跡・遺構などのデジタルアーカイブ化に取り組んでいます。本セミナーでは、これまで当センターが取り組んできた三次元計測について、その調査概要等を報告しますと共に、出土品等を写真で記録する際に有効なアーカイブの手法についても紹介します。

令和元年 10 月 29 日(火) 17:00～18:30

岩手大学教育学部 1 号館 2 階 E21 講義室

【本件に関する問い合わせ先】 岩手大学平泉文化研究センター事務局

〒020-8550

盛岡市上田三丁目 18-33

019-621-6529 E-mail ryukaiu@iwate-u.ac.jp